

令和7年度 研究主題・重点項目

Ⅰ 研究主題

ねらいにせまるための授業改善

～ 授業計画における工夫が見える化しよう ～

2 重点目標

(1) 授業の「ねらい」にせまるための授業改善

- ① 授業改善を行うために、「滝中学びのサイクル」を生かした授業を意識して実践する。
→校内研修や学年会議の場で、教師同士での話し合いの機会を設定する。「主体的・対話的で深い学び」とは何なのか、主体的とは具体的にどのような姿なのかなど、共通理解を進める。
- ② 各教科で単元計画と指導案を作成し、授業研究を行う。
→指導案を作成するときに、授業を計画したときに考えた工夫を明記（見える化）するようにする。
- ③ 主体的、協働的な学びを支える「学習規律」を徹底する。（聞き方、話し方の指導）

(2) 家庭学習の充実

基礎的、基本的な知識・技能を確実に習得し、自分の力を伸ばすために、学習の内容や時間、方法等について、生徒が自ら考え、自己調整しながら主体的に学習を進められる家庭学習を目指して指導し、個に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供する。

(3) 「食育」の推進

- ① 食育全体計画、食育年間指導計画をもとに、各教科で食育の推進を意識した授業を行う。
- ② 生徒会活動とも連携し、食育の推進を進める。

(4) 「小中のつながり」「地域とのつながり」を意識した授業実践

- ① 小中の学びのつながりを意識し、積み上げを大切にした授業実践を行う。
- ② 「かとう学副読本」を活用することで、地域とのつながりを意識した単元の開発と実践を積み上げる。

